

## 次の20年へ向けて頑張ろう

古賀 直文

先端的・基盤的科学技术の振興を促進し、人類の健康と福祉に寄与することを目的に設立された財団法人ヒューマンサイエンス振興財団が20回目の誕生日を迎えることが出来たことを私は誇りに思っております。私の経験では、当財団のような組織を持っている国は欧米諸国にも例がないと言えます。その背景には、西欧からはるか離れた島国で育ち、経験を重ねた日本人がそれぞれの立場から、例えば、官のご支援・ご協力、産と学の人々による経験と知識の集約、その積み上げとディスカッション等が挙げられますが、“一緒にやろうじゃないか”と言う気構えを持って対応しているからであると考えます。その面からして、産学官のサイエンティスト、技術屋の集まりに共同研究の場の提供、研究者間のリエゾン或いは研究発展の触媒としての機能を果たしている当財団の役割は非常に大であると信じております。私も当財団の賛助会員の皆様方と共にいろいろな問題を解決しながら知恵を出し合い、わが国の技術向上に努力してまいり所存でございます。本日が次の20年へのステップになることを切望いたします。